

# 高退協ニュース

## 新年おめでどうございませう

### 未来のために「戦争法」を廃止しよう



倉橋会長

高退協会長 倉橋 楠雄

の内戦状態となつて、南スーダンへ、新たな任務を付与された自衛隊員が派遣されたことです。危険を顧みず災害などで活動する自衛隊員を見て入隊した、多くの自衛隊員の命を危険にさらすものです。

我が国が戦後七十一年、戦争に巻き込まれなかったのは憲法の平和原則を国民が守り抜いてきたからです。市民と野党の共闘で成果をあげた昨夏の参院選の教訓を生かして、若者やママ等多くの市民と共に野党連合政権を実現して、未来のために「戦争法」を廃止し、世界に「平和」を発信しましょう。

哀悼  
松原 長茂さん 逝去  
11月9日 逝去  
田村 迪夫さん 逝去  
1月12日 逝去  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

昨年十一月九日夕、スペインから高知空港に帰ってきた。バルセロナでのヨハンクライフ財団シニアとの交流を終えての帰高です。個人的にはサッカー三昧の一年で、ついに海外遠征に及びました。バルセロナではちょっと驚く出会いがありました。高退協会員の宮川夫妻（黒潮町）の娘さん家族がホテルを訪ねてくれたのです。そこには、スペイン語はもちろん英語、仏語そして幡多弁を流暢にしゃべる三人のかわいの子供たちがいました。世界は狭くなつたなあと感じました。そして、その空港からの車中、思いもかけない次期アメリカ大統領にトランプ氏のニュースが流れました。

高退協恒例の「望年会」が12月4日(日)に高知城ホール4階で賑やかに開催されました。当日は朝からあいにくの冬の雨。その中を久しぶりにも再会する面々30人が集いました。

川村喜美

## 高退協“望年会” ～新たな年を望む～

会場には高退協メンバーの写真、絵画、織物、編み物等の力作が展示され、文化の香りが高まつていました。大切な力作を出展頂いた皆様、展示して下さる来客の皆様にも鑑賞していただき、ありがとうございました。

望年会は倉橋会長の挨拶の後、國松顧問の乾杯に引き続いて、余興を行いました。トッピングにも拘わらず、岡崎顧問が張りのある声で民謡を力強く歌ってくださった。高橋夫妻の尺八と琴による「春の海」の演奏。落ち着いた中に華やかな音色は、日頃の改悪への動きや、年金の改悪、高齢者医療の改悪と腹立たしいうぶんとした思いを浄化させ、新年にむかう気持ちを引き起こさせてくれました。次は急遽参

ノ(カ)ジ R I  
延長を  
次々とし  
強行採  
決したま  
そしは憂  
特はすべ  
慮はすべ  
事は上

### 高退協望年会から



一方、我が国では安倍政権の暴走が目立ちます。アベノミクスで格差と貧困はますます広がります。TPP、年金、I R

加を決定した事務局の踊り、PPAP。替え歌として「I have 市民連合」「I have 革新野党」「うっ(あわせて) 野党共同」と入れましたが、パタパタでした。次は島本さんのイオリン演奏。クラシックから童謡まで楽譜なしで、次々と演奏。途中から渡辺さんのリードで、会場からのリクエストに応じて、バイオリンの演奏つきで全員で「里の秋」「ふるさと」等を合唱しました。

名発言も3分までと前もって通告がありました。また、今回の懇親交流会は今年定年退職された川淵誠司さんが第2の人選として、四万十市議会議員補欠選挙の候補者となることを決意され、その激励も込めた会談でした。川淵さんからは「早く、選挙を終えて、安倍政治と対決したい。市議会からその声を届けたい！」との発言があり、会場からも拍手が起きました。

## 35名 幡多支部 懇親交流会 大盛況!

10月30日に高退協幡多支部の懇親交流会が中村で行われました。幡多地域の代表(松岡、津野、森本、奥本各氏)を置き、今回の懇親交流会を呼びかけてくれました。



川淵誠司さんを囲んで懇親交流会

高退協本部からも、倉橋会長、橋元副会長、胡摩崎後援委員長、國松顧問も高知から自動車参加し、総勢35名の個性あふれる懐かしい顔が集まりました。自由は土佐の山間から、とは言いますが、幡多方式とも言われるように、飲み会においても自由です。以前の懇親交流会では一人ひとりの近況を報告をしていたのですが、とても時間内におさまらないとのこと、近況報告は自由交流となり、指